教　　科	工業（建築技術科）	科　　目	選択科目：建築構造設計	単 位 数	２
履修学年	３学年	使用教科書	建築構造設計（実教出版）	履修年度	令和２年度
科目の目標	「建築構造」・「建築計画」および「建築製図」などの教科との関連を密にしながら，建築物に関連する力学の基礎的な事項について学習し，合理的な構造設計ができる能力を身につけることを目標とする。				

	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
評価規準	建築構造設計への関心・意欲はあるか。また，その態度は表れているか。	建築構造設計での思考・判断力はあるか。また，それを表現できるか。	建築構造設計における計算能力または，応用能力はあるか。	建築構造設計の知識はあるか。また，理解できているか。
評価方法	・授業への取り組み方 ・小テスト ・提出物 ・発表力 ・出席状況 ・定期考査	・授業への取り組み方 ・小テスト ・提出物 ・発表力 ・出席状況 ・定期考査	・授業への取り組み方 ・小テスト ・提出物 ・発表力 ・出席状況 ・定期考査	・授業への取り組み方 ・小テスト ・提出物 ・発表力 ・出席状況 ・定期考査
	授業への取り組み方，　小テスト，　定期考査，課題提出物，発表力，出席状況，サブテキスト等を総合的に判断して評価する。			

学期	月	時数	単　元	学　習　内　容	評　価
１学期	４ ５	１１	第３章 部材の性質と応力度	１．構造材料の力学的性質 ①応力度 ②ひずみ度 ③弾性体の性質 ④許容応力度	授業への取り組み方 小テスト，提出物 発表力，出席状況 定期考査
	６ ７	１２	第３章 部材の性質と応力度	２．断面の性質 ①断面一次モーメント ②断面二次モーメント ③断面係数 ④断面二次半径	授業への取り組み方 小テスト，提出物 発表力，出席状況 定期考査
２学期	９ 10	１１	第３章 部材の性質と応力度	３．部材に生じる応力度 ①曲げモーメント ②引張力 ③圧縮力	授業への取り組み方 小テスト，提出物 発表力，出席状況 定期考査
	11 12	１４	第３章 部材の変形と応力 第４章 不静定構造物の部材に生じる力	１．梁の変形 ①たわみとたわみ角 １．不静定梁	授業への取り組み方 小テスト，提出物 発表力，出席状況 定期考査
３学期	１ ２ ３	１２	第４章 不静定構造物の部材に生じる力	２．不静定ラーメン	授業への取り組み方 小テスト，提出物 発表力，出席状況 定期考査